氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗と今後（概要）

資料１－１

１　氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略期間中の人口の推移について

　　⑴　自然動態

　　　　出生数及び死亡数は対前年度概ね１割以内の増減で推移

　　⑵　社会動態

　　　　転出数は平成２８年度に７．５％減となったが、平成２９年度には平成２７年度の水準に戻り、転入数は毎年度着実に増加

総合戦略に基づいて各施策に取り組み始めてから、人口減少率が毎年度０．０５ポイントずつ改善（H27年度△1.5ポイント H28年度△1.45ポイント H29年度△1.4ポイント）している。特に２０代～４０代・０～６歳の転入数の増加及び３０代の転出数の減少は、子育て世代の人口の増加につながり、好ましい傾向にある。

２　１５の観点について

⑴　成果指標の現状について

　　　　①目標（平成３１年度）に達している成果指標

　　　　　○基本目標１（安定した雇用を創出する）

　　　　　　５　 仕事が理由で転出者数（補正後）

　　　　　○基本目標Ⅱ（新しいひとの流れをつくる）

　　　　　　４　 氷見市出身者のうち、仕事が事由で高岡市に転出する数（補正後）

　　　　　　７　 ６０代×氷見市出身者の転入数（補正後）

１２ ６０代×氷見市出身者以外の転入数（補正後）

②目標（平成３１年度）に近い（目標値まで概ね１割程度の数値）成果指標

　　　　　○基本目標Ⅱ（新しいひとの流れをつくる）

１１ 仕事が事由で高岡市から転入する数（補正後）

 ○基本目標Ⅲ（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

　　　　　　１３ 婚姻数（４月～３月）

　　　　　○基本目標Ⅳ（安心な暮らしを守る）

　　　　　　８　 ６５歳以上の要支援・要介護率

　　　総合戦略に基づく目標と実績に乖離が生じている成果指標は、「高卒新卒者の市内民

　　　間企業への就職率」や「２０代×氷見市出身者の転入数（補正後）」、「子育てを事由

とした転入数（補正後）」であることから、目標を達成していくためには若者の働く

場を創出することや子育て環境をよりよいものにしていくことが大切となっている。

３　重点施策について

⑴　ＫＰＩの現状について

　　①目標（平成３１年度）に達しているＫＰＩ

○基本目標Ⅱ（新しいひとの流れをつくる）

・空き家バンク登録数

○基本目標Ⅳ（安心な暮らしを守る）

・特定健診受診率

・病気や介護の時に地域に頼れる人がいると思う人の割合（市民アンケート）

②目標（平成３１年度）に近い（目標値まで概ね１割程度の数値）ＫＰＩ

　○基本目標Ⅰ（安定した雇用を創出する）

　・観光消費単価

 ○基本目標Ⅲ（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

　・出産前後の相談件数

・子育てが楽しいと感じている子育て世代の割合（市民アンケート）

○基本目標Ⅳ（安心な暮らしを守る）

　・メタボリックシンドロームの率

総合戦略に基づく目標と実績に乖離が生じているＫＰＩは、「市内消費率（市民アン

ケート）」や「移住センター経由での移住者数」、「おせっかいさんによるひみ婚会員

引き合わせ数」、「地域づくり協議会の数」、「コミュニティビジネス創業件数」であり

現在、地方創生推進交付金を活用したり、地域等と協力したりして取り組んでおり、

成果につながるよう引き続き積極的に取り組んでいくことが必要となっている。

４　地方創生推進交付金活用事業について

⑴　移住定住促進事業

　　平成２８年度から平成３０年度　　地域振興課

⑵　ひみ食文化推進事業

平成２９年度から平成３１年度　　商工観光課

⑶　ひみの木しごと創生事業

　　平成３０年度から平成３２年度　　花みどり推進室

⑷　まんがのまちづくり推進事業

　　平成３０年度から平成３２年度　　商工観光課